

## 第 12 回壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会 議事録

日時：令和 5 年 11 月 24 日（金） 9:30～11:30

場所：壬生町役場 特別会議室

出席者：

（委員）

所属及び役職		氏名	出席	欠席
委員長	宇都宮大学名誉教授	三橋 伸夫	○	
副委員長	壬生町自治会連合会会長	山縣 博司	○	
委員	壬生町舟町自治副会長	川中子 登		○
委員	壬生町栄町自治会長	増田 美博	○	
委員	壬生町仲通町自治会長	内山 功	○	
委員	壬生町上通町自治会長	白久 久雄	○	
委員	壬生町商工会会長	赤羽根 信行	○	
委員	下野農業協同組合壬生地区営農経済センター長	荒川 佳久		○
委員	壬生町女性団体連絡協議会会長	松本 英子	○	
委員	足利銀行おもちゃのまち（壬生）支店長	永尾 吉哉	○	
委員	栃木銀行壬生支店長	橋本 洋	○	
委員	栃木信用金庫おもちゃのまち支店長	篠原 正樹		○
委員	壬生まちなか創生ワーキング副代表	福田 倫子	○	
委員	宇都宮大学地域デザイン科学部	大嶽 陽徳	○	
委員	公募委員	早乙女 春香	○	
委員	公募委員	中村 元子		○

（事務局）

所属	役職	氏名	出席	欠席
壬生町	副町長	櫻井 康雄	○	
	総務部長	増山 士郎	○	
総務部	課長	佐々木 正裕	○	
	係長	大栗 優		○
	主査	黒澤 俊広	○	

**議題：**

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 議題  
    (1) 壬生町本庁舎跡地利活用について
4. 意見交換
5. 閉会

**配付資料：**

- ・ 資料            : 壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会委員名簿
- ・ 資料            : 旧庁舎跡地の利活用について
- ・ 資料            : 旧庁舎跡地利活用基本設計計画平面図（案）
- ・ 資料            : 壬生町本庁舎跡地利活用基本計画 概要版

**1. 開会**

**2. 委員長あいさつ**

**3. 議題**

**(1) 壬生町旧庁舎跡地利活用について**

- ・ 事務局より、「資料1 壬生町本庁舎跡地利活用について説明。

**4. 意見交換**

三橋委員長 事務局より基本計画を踏まえ公共機能エリアを中心にご説明いただいた。改めて各委員からご意見をいただきたい。

内山委員    チャレンジショップの業種が飲食に限られないように考慮いただきたい。コミュニティカフェを含め、施設の管理・運営はどこが行うのか。

事務局      チャレンジショップ及びコミュニティカフェの運営を行う事業者については、プロポーザル方式で事業者からプレゼンテーションを受けて、最適な事業者を選定していきたいと考えている。また、施設全体の管理・運営については、町民活動支援センター“みぶりん”にて行うよう調整している。

白久委員    民間活力導入エリアについて、旧壬生全体を活性化する事業として実施していただきたい。最近では地域の活気、盛り上がり、まとまりが欠けている状況である。また、施設の機能は公民館と重複することが無いよう注意していただきたい。

- 赤羽根委員 商工会としては、地元のまとまりを後押しする形で商工会員からの出店が進むと良いと感じている。
- 事務局 民間活力導入エリア、公共機能エリアのどちらにおいても、公募型プロポーザルにより地元の活性化に繋がる事業者を選定していきたいと考えている。
- 山縣委員 この跡地検討が始まってから、新型コロナウイルス感染症などの社会情勢の変化により、住民の価値観も大きく変わってきていると感じている。参入いただく事業者はアフターコロナの価値観にあった事業者であることが重要である。また、事業者への支援として金融機関にもご協力いただきたい。
- 永尾委員 現在のところ旧壬生エリアで事業を開始したいといった情報は、特段無い状況である。銀行としては、相談事に関して積極的に受けていきたいと考えている。
- 橋本委員 創業支援については、同調して取り組んでいきたいと考えている。チャレンジショップ等の運営については、行政からの支援も検討いただきたい。
- 事務局 チャレンジショップ及びコミュニティカフェについては、事業開始時の負担を軽減させるために、入居に係る家賃は光熱水費相当分の低価格で貸し付けたいと考えている。コミュニティカフェは、高齢者向けのスマホ教室の開催や地元住民が作成した作品の販売や展示などがするギャラリー機能も備えていきたい。
- 赤羽根委員 商工会には開業を希望する者を対象とした勉強会を行う「創業塾」があり、令和5年度は15名の希望者がいる状況で、例年よりも増加傾向である。しかし、旧庁舎跡地周辺の商店街は、住宅と併用して使用されている店舗が多くあり、テナントとして貸し出せていないことが課題である。
- 早乙女委員 ある程度の集客が見込めるといった入居者がチャレンジしたいと思える環境整備が必要だと感じている。また、日替わりや週替わりの出店となった場合に、出店が無い日に賑わいを絶やさないよう、イベントや展示などを企画していただきたい。
- 内山委員 民間活力導入エリアに参入する事業者の集客力も影響があると思われる。
- 三橋委員長 地元の野菜を取り扱うことができる事業者も候補として望ましい。
- 事務局 地域の活性化に繋がる事業者を可能な限り幅広く募集していきたいと考えており、新聞をはじめとする各種メディアの活用やサテライトオフィスを活用しながら情報発信をしていきたいと考えている。
- 松本委員 若者に関心が強い施設を尋ねたところ「スターバックス」なら人が集まると意見ももらったが、ここの立地には難しいと感じている。
- 福田委員 町の広報紙や公式ウェブサイトのみだと、出展を希望する者が自ら情報を取りに来ないと辿り着かないため、InstagramやFacebook等のSNSを活用することが有効だと思われる。
- 赤羽根委員 町内の事例だと「金龍閣」がSNSで成功した事例であり、SNSの影響力はかなり強いと感じている。イベントとしては、軽トラ市も有効かと思われる。

- 山縣委員 SNS での情報発信は、様々なツールがあるので、既存の LINE や Facebook だけでなく幅広く活用していただきたい。
- 大嶽委員 既に民間企業が興味を示しているということは、ある程度ポテンシャルのある地域と考えてよいと思われる。また、「創業塾」にも参加者が多くいる状況ではあるが、コミュニティカフェやチャレンジショップに参入したいと考えている事業者がどのくらいいるのかといったニーズ調査を行うことが有効と思われる。
- 三橋委員長 以前に空き店舗の活用と立ち寄りたいお店に関するアンケートを行ったところ、学習塾といった声があった。また、コミュニティカフェに棚を設置して住民の作品展示・販売を行うといった、運営のソフトウェアを増やしなが事業を進めていくことで地元根差した施設として浸透される。
- 大嶽委員 チャレンジショップやコミュニティカフェについては、入居者自身が店舗イメージに合わせて、家具や棚などをリノベーションできると良いと考えている。また、建物の設計については、各店舗の様子が外から見えるように開放感のあるデザインにしていきたい。多目的広場については、先ほど軽トラ市の話があったように、活用の仕方が重要になってくると考えている。
- 事務局 旧庁舎跡地利活用基本設計計画平面図（案）について補足説明。  
旧庁舎跡地周辺で行われていた「雷電マルシェ」など地元と協力しながら多目的広場を活用したイベントを行っていききたい。
- 山縣委員 町民活動支援センター“みぶりん”が移転することに関しては、調整役として適していると考えている。これにより“みぶりん”が良い方向に変わっていくことが望ましい。
- 事務局 町民活動支援センター“みぶりん”については、登録団体が活動内容を発表する場が限られているといった声があるため、コミュニティカフェを発表の場としても活用していきたい。
- 副町長 当初から携わっていたが、各委員からたくさんの意見をいただいた。特に民間活力導入エリアは影響力が大きいので、本年度中に具体的な活用方向が見えてくると、周辺施設の活用も誘導しやすいと認識している。詳細については、変更の余地はあるが、引き続き検討を進めていきたい。

## 5. 閉会

- 事務局 本日は多くのご意見をいただき、ありがとうございました。  
事業の進捗につきましては、随時情報提供させていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。

以 上

署 名

壬生町本庁舎跡地等活用検討委員会

委 員

---

委 員

---